

局長  
人事

課長

局長

課長

課長

課長

課長

第十信課

親展

至急

作

一〇 〇〇九三〇

丁一〇五〇

〇〇四四六  
〇〇四六五  
〇〇六一九  
〇〇六五九

共

海

● 機雷部隊・前島・瀬田特九四・藤澤特九五

● 海上護衛隊口・高橋・十一聯隊A・一海上護衛隊A

暗號軍機機密終〇九二一〇二番電 三分ノ一五三

機雷部隊指揮官

機雷部隊電令作第七號

一 機雷部隊電令作第一七七號ニ基キ五月中旬臺灣海峡機雷部隊ヲ設置ス

二 軍隊區分(區分指揮官兵力ノ順)

(1) 主隊 本隊 第十八戰隊

五八六三・五八七二・五八七四 九A(日)佐田

海軍

3/10

三、各隊ノ任務行動

(四)警戒隊 友鶴艇長 友鶴海成 鹿島第五十八號驅潜艇

(六)哨戒隊 先任艇長 瀬戸第九四號驅潜艇 務艇第九五號驅潜艇

(1) 主隊警戒隊五月十一日佐世保港外設十四日日没後ヨリ警戒海面

ニ進入十五日〇〇三〇迄點Aへ北緯二三度五六分東經一一八度

二一分ニ對シ〇八〇〇頃迄ニ警戒ヲ完了

機雷埋設定線ヲ中心線トシ散開配備四〇哩以内ノ海面ヲ警戒シ

タル後十四日午前八時頃水運東口ニテ主隊ニ合阿スベシ

(二) 前島へ便宜馬公方面設置機雷老虎機雷一組岸七哩附近ニテ警戒備

置シツツ北上シ十三日午後彭佳嶼ノ北七哩附近ニ於テ合阿スベ

シ

自合阿後ノ任務行動ハ特令ス。

第十信課

海 馬



Handwritten mark resembling the number '3' with a vertical line through it.

五一〇  
二二三七  
〇四〇八  
丁〇四五〇  
〇四八三一

東京通信隊・第五通信隊

無線第一〇〇七〇三番電

第四艦隊參謀長

聯合艦隊長官旗艦

第一航空艦隊長官旗艦 大本營海軍參謀部第一艦

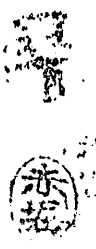
聯合艦隊機務部〇六一八四二番電返

五月中F揚陸定ノ航空燃料左ノ通

中旬二〇〇〇軒(第十八總影丸共乗丸)

下旬三一三〇軒(廣瀬丸神丸)備正生丸江戶川丸藤原丸昭興丸  
二ヶ合計三一四〇軒八六月上旬到滿ノ見込五月十日P現在番一三

通六二九八 兵二A 一五一二五K 四通 海軍



第十信課

Handwritten number '3/2' at the bottom center.

課長

局長



十信課



五 一〇 受領一六四五六 丁一七一一 電〇四九六 作

◎ 陸 北 部 隊 戸

◎ 大海軍一部：聯合艦隊司令部・二十三駆隊△・二三根ノオ下海軍部  
十通・三〇實地・二六根△・十八艦

機密第一〇一〇二五番電

發 南西方面艦隊參謀長

宛 第六護衛艦團司令官

通報威、真、輝、勢、南西方面艦隊杉江參謀（二六特別根據地隊兼付）

南西方面艦隊機密第一〇九二一五五番電ヲ取消ス

大海機密第一〇九一八四九番電ニ基キ計畫ヲ定ム

關係各部ニ通報アリ度。

通六〇五一 呂二A（一九五五〇C）二二一通 海軍

313

議長

司員

第十信課

一 一 受領 〇〇七三〇 〇八一三 〇五〇五六 作保

系

● 南西方面艦隊司令部・中部太平洋方面艦隊司令部

● 東京鎮守府・支那方面艦隊司令部・三南遠征艦隊司令部・四國艦隊司令部

機密第一〇二二二二番號

通報 大本營海軍參謀部第一報 海上護衛司令長官 聯合艦隊司令部第八三號

一 南西方面艦隊司令長官ハ成ルベク多數ノ新潛艦艇及航空機ヲ菲島

「ハルマヘラ」方面ニ集中菲島海北方面増強輸送ノ護衛ヲ實施ス

ベシ

二 南西方面艦隊司令長官ハ海上護衛艦隊ヨリ派遣ノ護衛艦艇二隻及

支那方面艦隊ヨリ派遣ノ護衛艦一隻並ニ水上偵察機六機ヲ指揮ス

ベシ

第六四四三

第三A

（機密）

海

軍

314

三 中部太平洋方面艦隊司令長官ハ爲シ得ル限リ要需艦艇ヲ該北方面  
ニ派遣シ第一項ノ要需ニ關シヨリ司令長官ノ指揮ヲ受ケシムベ  
シ

四 本件大海艦隊三七八號及大海機密號〇九一九三九番運用關聯

第十信  
書課

海軍

3/5

人事

親展扱 五  
緊 急 一  
受 信 二  
調 始 二 〇 三  
〇 〇 〇  
譯 丁 二 一 三 五  
電 〇 五 三 五 四  
作 陸

停

聯合艦隊口・南西方面艦隊各口・第三、四各南遣艦隊口  
三二根▷・タル航空基地・六根ワシレ派遣隊

機密第一一一三一五番電

通報 輝、楓兵團ワシレ海軍武官

六KB電令作第一一七號

蒼鷹ハ楓兵團ノ一ヶ大隊半ヲ十二日「ワシレ」警發ニテ「モロタイ」島  
ニ輸送スベシ輸送揚陸ノ細部ニ關シテハ直接陸軍側ト協定報告通報スベ  
シ。

通六九〇二 呂一A(一九五〇K)廿一通

3/6

人子

三三三  
一一一  
受領一八五五〇  
譯丁一二〇九一五電〇五四五九 作



● 第四南遣艦隊P  
● 大海參一部・聯合艦隊P

機密第一一一一五四二番電

● 南西方面艦隊參謀長

成參電第三二八號（第十根據地隊機密第一〇一七三〇番電）ノ件ハ  
事前進路無ク當隊トシテハ中央ヨリノ指示無キ限り前線防衛強化ハ  
既定計畫通り之ヲ實施シ陸軍部隊前送ニ對シ極力援助確保ヲ策スル  
方針ヲ採ラル。

通六七九四 呂三A（一九五五〇〇）二二一通

海軍

電信課  
第十課

317



心  
十

五二二  
受領 一〇五六 丁 一四〇〇 電〇五五七五 作・本誌

● 東京通商船・三浦通商船・二十一通商船  
● 聯合通商船・中部太平洋方面通商船・大連通商船  
● 第一通商船廠・南東方面通商船・北東方面通商船

機密第一二〇七四五番電

陸 中野太平洋方面艦隊長官

海 第三十根拠地隊司令官

海軍 南西方面艦隊長官 〇五五長官 軍令部部長 海軍大臣

機密マヤヲ電令作第一號

第三十根拠地隊司令官ハ總領出來次第左ノ本道及泊地ニ當シ普通機密  
ヲ敷設シ敵ノ利用ヲ阻止スベシ之ヲ爲所要ノ敷設計畫ヲ策定報告一書  
ヲスベシ

第七二〇九

目二A 一一〇〇九五(一)五款

海 軍

「ワルシ」無礙「トワチ」本道及北方諸地ヲ除ク各水運泊地  
ニ「タワル」泊地ノ大略

海

軍

3/9

至  
一三 授領 〇一九一〇〇 譯了 〇八二七 電 〇五九二五 作 保

● 共 符

● 高野海防備部隊・東洋方面防備部隊（高野）・十四機隊・東港航空基地  
 陸海一七〇部隊（陸軍二〇六）隊（陸軍一七一）部隊（陸軍第六直隊）隊  
 ● 大本營海軍部・聯合艦隊司令部・三〇航空基地  
 ● 海上機務隊司令部・一海上機務隊・二機隊

機務隊一三二一一二七番管

高野電令作第一九三號

一 第三航空機隊 第三航空機隊 武蔵左ニ依リ十三日〇六〇〇北緯二三  
 度一〇分東經一二五度一五分ヨリ針路二五〇度バク海峽通過十四  
 日〇七〇〇北緯二〇度四〇分東經一一八度〇〇分ヨリ南下實速力  
 一八節

ニ各機隊ハ左ニ依リ之ガ附帯機隊ヲ行フベシ

頭七五五〇 呂一Aヲ七一九四一〇松ノ高野

海

用

第電十信課

220

(4) 第十四師合編發隊陸攻第一七一聯隊ハ擔任海面前路警戒東港赤嶺  
 線ハ霧臺鼻ノ一八〇度以西前路警戒  
 (5) 東岸防備部隊ハ霧臺鼻ノ一八〇度線以東ハ海軍防備部隊ハ右以西  
 ハ前路警戒

第十信課

海軍

321

人  
素

五  
一三  
機密第一八五一  
〇四五  
丁一〇五三  
〇六〇六八  
作  
動

● 共 符

● 海軍省防備部隊△・東岸方面防備部隊△・艦隊一七〇部隊  
● 第一七一部隊・東港航空基地・一四聯合航空隊△

● 大本營海軍部・海上航空隊口・聯合艦隊口・聯合艦隊△  
● 三〇航空基地・一海上航空隊△

機密第一二二一七二五番電

陸 高 務

省府機密第一二二一七番電中

丁左ニ依リノ次「行動」ヲ輸入サレ度。

海 軍  
第七五二五 月一Aラ七(九四一〇C)高雄

第電  
十信  
課

322

0337

五一六

受信開始 一〇八〇〇八

一〇四二 電〇七三二二

航人本・軍務

第十

五 通信隊  
東京 通信隊

機密第一五〇七五二番電

發 四 F 參謀長

宛 F Y F 長官旗艦

通報 軍令部第一部長 軍務局長 G F 長官旗艦 航本總務部長

現戰況ニ鑑ミ九〇二航空隊水偵兵力ハ夜間離島連絡ヲ考慮▲日級搭  
乗員ヲ以テスル三座水偵一隊乃至一隊半程度トスルヲ可ト認ム右

ニ件ニ過剩定員ハ至急轉用ヲ可トス

通九七〇五 日三A(一〇〇九五)五通

海軍

323

尙四 B 四 B 司令部附ハ離島基地 ( P O . P E M . P F N . P G )  
ノ關係上概本現在員ノ儘トスルヲ要アリ。

陸軍  
第十師團  
陸軍

海軍

324

夫人? 11



五一五 海軍部 陸軍部 一九二五

一九三〇 〇七〇八五

第十信課

海上糧食部・海軍部

大坂第一師団 第四師団 陸軍部 海軍部 陸軍部 陸軍部

機密第一五〇八三〇番電

海軍部 陸軍部 機密部

海軍部 陸軍部 機密部 第六號

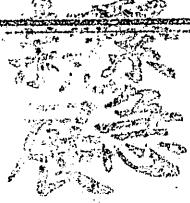
臺灣海峡機雷埋五月十五日〇〇五〇敷設開始〇七四一終了計畫通り  
實施天候ニ恵マレ極ノテ順當ニ經過狀ナシ。

通九二八九 呂一A(一五三二〇) 海軍

325



人事



五  
一六五  
一〇七  
一〇七  
二〇五  
〇三六  
電〇〇七七  
三九六  
四七  
作 照

● 第四軍團司令部各ノ各課長

● 東京通信隊・聯合通信隊日・二十一通信隊

陸 軍 機

機密第一五〇九三〇番電 二分ノ一ニ

通 聯 聯合通信隊司令長官 日五ノ四司令長官 二五ノ四司令長官

日五ノ四司令長官 九九號

一 陸軍部北軍團司令部 陸別紙兵力部署中左ノ通政ノ(五月

十五日附)

(1) 陸軍部二六番通信隊第三聯隊海陸特務通信第九號海陸特務通信第一〇號

海陸特務通信五番通信九一七番通信第一第二第三餘谷丸天城丸第一〇

通九三八四・九三九九 呂一A(一九五五〇・五九〇五四)廿二通 海 軍

電信課 第十課

326

第十信課

二號特務艦潛艇第一〇三號特務艦潛艇第一一二三號特務艦潛艇第一  
 一六號特務艦潛艇第一〇九一一〇各魚雷艇一一〇防空隊五二四  
 船舶防空隊二四隊警隊三一魚雷調整艇五五五ヨヨ除十六五ヨ  
 ニ編入

(四) 五五ヨ「主要任務」第七項ヲ左ノ類改ム  
 七 擔任區域内通線補給基地ノ整備アンボン方面「クイ、アル、タニンバル、ヨカス」カイマナ「ミカ

(六) 五ヨ「主要任務」第七項中「アンボン」―「クイ」方面ヲ追加

三五ヨヨ六五ヨ八五ヨノ作戰（警備）擔任區域ヲ左ノ通改定ス  
 (イ) 三五ヨヨ從前ノ五五ヨ擔任區域中五度〇分ヨ一三二度〇分ヨヲ通スル二七〇度線以南五度〇分ヨ一三二度〇分ヨニ  
 「オペンタ」角「セレ」角（フオゲルヨツブ半島西端）一度二

海軍

327

○分 一三三度四五分トノ連線線以東以南トシ右以外ノ「ニ  
 ユーギネア」擔任區域ハ從前通トス  
 (四)六五度五分一三二度○分ヲ通ヌルニ七〇度線以北五度○  
 分一三二度○分ヲソール島東端「オペンタ」角線○度○分  
 一三〇度○分線以西トス  
 (五)八五度右五五度六五度擔任區域以前ノ西部「ニューギネア」  
 方面トス

第十信課

海軍

328

516 381 201  
LIS → BB (235) (E)

人事

五 一五 受領一五三六 丁一五三五 電〇七四九〇 作

第十信保

第三基地航空部隊

大海軍一部・南西部隊各戸・東印部隊各戸

陸軍

機密第一五二二二番電

第三基地航空部隊電令作第十二號

三八一部隊ノ兵力阻備線ヲ左ノ通り定ム

一、六〇二飛行隊ヲ但シ一個中隊ハ機動兵力トシテ敵情ニ應ジル

且其ノ他要地ノ防空並ニ敵機撲滅ニ任ズルモノトス

二、九〇二飛行隊主力ハ一部(二機)ヲ

等練成基地ヲムルハLR又ハLORトシ練成中ノ兵力ハムル及

所在地ノ防空ヲ兼ルモノトス

海軍第三六五 月二六(一九五五)〇(二)一

海

B29

五 一 六

受了始價

六三二  
一三二  
五二

電〇七三九六

作。誌本

● 廣 通。互 通

電報第一五八二五番電

第四陸軍參謀長

宛 大本營陸軍參謀部第一部長。聯合陸隊、マヤロ、第一旅團

今次ノロに敵機動部隊來襲ノ報訓在ノ通

區制の優勢ナル機動機群ヲ以テ防戦スル敵ニ對シ要地止進ニ於テ小隊ノ取回シヲ以テ進退スルハ今夜ノ取回シ敵ノ成暴ノ期待困難ナリ一方味方國上防壁ヲハモ意無難儀ヲ防壁シ得ルハ中ノ政務區可能ナルヲ之並ニ口々敵機動部隊ノ進退ニ對シ攻口敵機動部隊ヲ防壁シ得ルハ中ノ政務區可能ナルヲ

口九六八一

目三ノ(一)ノ三〇四ノ四

軍(一)

第十信線

330

以下先朝政變後ニ續國後部臣人政權法ニ準テ其ノ大體飛行機ノ機  
 造機能等對策及ハ戰法等戰及テ可ト觀ス  
 今次ノP3空襲時ニ於テハ敵機司令部第一目撃隊用機六五型第一號  
 機機體圖樣第一〇〇機。

電信第十號

海

軍

331

親王  
急

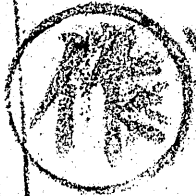
五

一六

陸軍省  
陸軍部  
陸軍省  
陸軍部

陸軍省  
陸軍部  
陸軍省  
陸軍部

陸



陸軍省  
陸軍部  
陸軍省  
陸軍部  
陸軍省  
陸軍部  
陸軍省  
陸軍部

陸軍省  
陸軍部  
陸軍省  
陸軍部

陸軍省  
陸軍部

陸軍省  
陸軍部

東平洋ノ三方面ニ互リ敵機動ノ兆ヲ呈シアルニ付リ精銳ニ進攻丸横  
理慶ヲ阻シ且敵機動ヲ準備セラルニ度向各防區全面的ニ警戒ノ強化ヲ  
要スルニ就テハ諸國先ヅ陸軍全部一待要スレバ陸軍一部ノ増成兵  
力ニ充當之ガ爲攻堅兵力ヲ備減スルニ至ルモ止ヲ得ズト認メラレテ

陸軍省  
陸軍部  
陸軍省  
陸軍部  
陸軍省  
陸軍部  
陸軍省  
陸軍部  
海軍

第十卷

332

0347

人

五一七 丁三二〇 〇〇八二〇八

急

五十七

作

東京 守府

軍

一七二八二七番

一

大

五月二十三日

一〇六二七 三三三 一〇〇九五 海軍

第十

333



人事



至  
親  
辰

五  
一九八  
受  
丁始情  
一九三〇  
五五八  
電〇八九〇六  
作

東軍司令部  
二部  
聯合司令部  
六陸隊  
南京方面、北東方面各陸隊  
中部太平洋方面陸隊

機密第一八〇七四五番

機密中部太平洋方面陸隊電令作第一號ヲ中部太平洋方面陸隊電令作  
第六號ニ改メ普通機密敷設箇所ニ左ク追加ス  
「アルコルン」燈台ノ三五六度一三四〇〇米地點ト同燈台ノ三度一  
八〇〇〇米地點トノ連絡線以東ノヨスソル水道泊地ヲ除キ全同口ス  
ソル水道泊地（北口及西口ヲ含ム）  
（東種註 本電開合セノ爲運送）

通一一四九 呂二A（八九九五）機ケ谷 海軍

334

第十部

人事

五一九

受

了始信

〇〇四

九八三

〇三三

〇〇五

電

〇八八六六

作



東印部隊  
東通・聯合艦隊口・南西方面艦隊各戸

機密第一八二〇五五番電

通報 次長

東印部隊電令作第二四三號

一、東印部隊あ號作戰要領ハ機密南西方面部隊命令作第二四號ニ依ルモ

トス

(イ) 第二十一特別根據地隊ハ一部兵力(特令)ヲ参加セシムル外現任  
務ヲ續行

(ロ) 第二警備部隊 第三警備部隊指揮官ハ同作戰準備トシテB.T.  
機▲ノ築城ヲ急速強化

通一一六一六 呂四A(五九〇五機)二十一通 海 馬

第十部

335

ニ「小スンダ諸島」方面ニ敵來襲ノ場合ハ機密東印部隊命令作第一〇

號及第十一號ニヨリ作戰ス

三、あ辦作戰及第二項作戰ト同時ニ生起ノ場合第二警備部隊 第三警備  
部隊及第一警備部隊ノ一部（特令）ハあ辦作戰ヲ第一警備部隊（一  
部缺）ハ第二項ノ作戰ニ任ズルモノトス。

定信課  
第十課

海軍

336

ム  
3  
1

五  
二一九  
〇九  
開脚受  
了始信  
〇〇二  
九八二  
一三三  
一五〇一

電〇九三四五 作

電  
十  
部  
課

テニアソ航空基地  
大海参一部・横 銀

機密第一九一七五〇番電

聯合艦隊參謀長

航 一 A F 參謀長

一〇〇一空輸送機ノ一部(約一〇機)ハ本艦隊ノ進移ニ應ジ作戦箱  
細下ニ入ラシメタル内案ナル庭目下ハ横領機密第一八一六四七番電ノ  
通現地輸送機ノ空輸ヲ擔任中ニシテ第六一航艦香取所在員進出ノ爲ニ  
機ノ協力ヲ得ル外當分期待シ難キニ付五ノ展開ハ指揮下現保有  
機ノ整備促進ニ依リ運用セラレ度

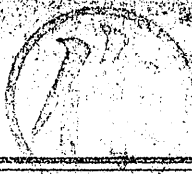
通一三〇九八

目三A

機密

海軍

331



人  
事



第十部  
海軍

五一九

海軍三二五五

海軍〇三三〇

海軍〇九二三七

海軍部

海軍部第一九一九五八番

海軍部第一九一九五八番

海軍部第一八一九五三五番

海軍部第一八一九五三五番

伊三六一型潜水艇ハ被テ一ノヲ第六艦隊ニ配属セラレタル場合ハ差當リ  
艦食糧運任務ニ主用セラレ被潜水艇貯藏當時企圖セラレタル如キ攻  
的輸送作戦ニハ之ヲ使用セラレザルモノトシテ訓練整頓等ヲ行フコ  
トト致度務 仍チ差當リ被潜水艇ハ不使用状態トシ米魚鹽ハ不搭載大  
艇モ之ヲ撤去又工方面輸送用ノモノニハ輸送用時殊ゴム浮舟搭載時  
密閉ノ輸送ニ適スル如ク包装スルヲ適當ト認メラルルニ付然ルベク取

海軍部第一二〇八七 AA ( ) 奥

海

338

人事

作

五二〇

受

了始備

〇九三四  
〇〇五三  
六五三

電〇九三四四

作

電信  
第十課

十三航空艦隊司令部

大本營海軍部・八五一空・中部太平洋方面艦隊司令部・一機動艦隊司令部

機密第二〇〇七四五番電

聯合艦隊司令部第九四號

あはれ作戦中第三基地航空部隊指揮官ハ主トシテ敵機動部隊ニ對スル  
夜間制空任務ノ爲八五一空二式飛行艇二機ハ電波探信機裝備及搭乗  
員A組ヲ附スルヲ派遣シ第五基地航空部隊指揮官ノ指揮ヲ受ケシム  
ベシ。

通一二三五五

目二A)

B

(横通)

海

軍

339

14

五 二〇 開始一七五〇三三 師丁一七三七 電〇九五七八 作

● 南西方面部隊各口・第九五回誌

● 大海参一節・聯合艦隊各口・第一航空艦隊各口

機密第三〇一〇一二二〇番電

南西部隊電令第三六六號

南西部隊電令第三六六號中の機密部隊航空兵力申左ニ追加

ス

(\*) 「E A」(E B E) 九五回航空隊零水四機

(\*) 「E D」舞鏡隊進隊零水六機

(\*) 「E E E」(E F A) 九〇一航空隊隊隊改各二機

ガンホアノガ 番号

三月二〇日 九月五日〇日(二)二二

軍

340

T4

第一二五八七 第二二八一 日 佐通

海軍

佐世保海軍航空隊司令ハ佐世保海軍航空隊艦隊一隊ヲシテ作戦ニ關シ横領長官ノ指揮ヲ受ケシムベシ。

佐領官連令作第三一號

機密第ニ〇一四三五番電



● 佐 大 輔

● 佐 大 輔

● 佐 大 輔

五二〇 受領 第一三五五〇三 第一二二三〇 第九六八〇 作

341



0356

TG 厚道

局長

課長

主任

福部

王男

田中

事務

五二〇 開始二〇三〇〇 丁三〇四五 〇九六七九 作



● ●

衣 吳

空

長・横

鏡・横

空・厚本航空基地

●

吳

鏡

機務部二〇一五三一番電

信託令作第八號

厚本航空隊司令八隊取一隊ヲシテナルベク此ニ厚本航空基地ニ連  
出セシメ作戦ニ關シ機務長官ノ指揮ヲ受ケシムベシ。

通一二五五五

通二▲▲

日

吳

海

軍

342

五三〇

受領三三〇

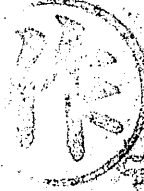
三三三〇

九六七八

作

第五基地航空部隊

大津第一部隊・聯合司令部・第八空襲部隊△



機務第二〇一七五六番

第三基地航空部隊電令作第一三號

八五一部隊指揮官ハGノ電令作第九四號ニ依ル飛行艇二機ヲ「P」

トシテ機務第五基地航空部隊指揮官ノ指揮ヲ受ケシムベシ。

通一二七五六

呂二△八一五九〇五四〇二一海

軍

343

第百信

局長

課長

五二八二

受領一〇八五三〇

丁一三三〇

電一〇〇七四

參本

二四 通信隊

一八 警



大海軍一師

聯合艦隊司令部・南西方面艦隊司令部・伊五四  
五基地航空部隊呼出符號通信處所・二三航空戰隊

機密第二〇二二二一五番電

發 勢參謀長

宛 四八日參謀長 二八根參謀長

通電先 海 陸 三飛團

參考 猛

勢參謀長五九六號

不擊兵團主力ノ「トム」(「ワクテ」)對岸附近攻艦總署左ノ如シ

通一三〇七三

局二A(一〇〇九五配)五通

海軍

344

第二十回

攻撃兵力歩兵十二中隊基幹「ホウランディア」前進部隊及「ワク  
 デ」守備隊ヲ含ム。殘留兵力歩兵三中隊基幹（他ノ中隊ハ他正面ニ  
 配置シアリ）攻撃時期「メムシ」拂曉前「トル」河渡河完了攻撃開  
 始ハ「メムシ」夜以後ト豫想セララル

ニ海軍及航空部隊ハ右ニ協力セシム

三本邦陸軍機偵察ノ結果「トム」附近ニハ一萬噸級巡洋艦五隻外三  
 千噸級艦艇（輸送船ヲ含ム）約三〇隻浮弋中ニシテ小舟艇ノ類ニ移  
 動シアルヲ認ム。

海軍

345

作

局長

三三

三三

三三

三三

三三

三三

三三

三三

三三

三三

三三

三三

三三

三三

三三

東京通信隊  
六機隊

機密第 二一一二三五番

G P 参謀長

軍務局長

通報 大海軍一部長

第六機隊機密第一九一九五八番電ノ件

第六機隊機密採取計ハレ度。

三三三三三

AA(B)機密

海軍

第十百部

346

五三三

受領一三一〇〇

丁一三四五

電一〇四八二

作保

● 東一號演習輸送着信機所

機密第二二〇九四五番電

北方部隊命令第六九號

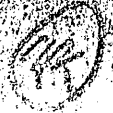
陣風ハ準備出來次第函館ニ回航北千島行船團（釜戸丸千早丸）ヲ東  
經一五〇度線迄護衛シタル後二十四日大泊邊檢定ノ古城丸與東丸ノ  
間接護衛ニ任ジツツ小隊ニ踏投セヨ。

海軍 第一三三二九 留A)八五二〇〇(大)

海軍

第十信課

347



五二二  
受領一四三四五  
丁一四二〇 電一〇四八六 作

海上護衛艦口・吳 鎮

機密第二二一一五八番電

發 聯合艦隊參謀長

大津及願逐艦三隻二十三日〇九〇〇叶埼ノ一四〇度七五測ヨリ豊後  
水道ニ進入航路附近ノ敵情掃蕩（警戒）ヲ特ニ強力實施スル機取計  
ヲ得度。

通一三七八七 呂三A一B 一横道

海 軍

第十信課

348

五二二

受領一四二五

一五〇五

電一〇四八七

作勤

第十信課

海上陸軍艦口・大阪警備府

機密第二二二二〇四番電

陸軍省参謀長

大津及羅達船三隻豐後水道ヨリ内海ニ進入ノ豫定ナルモ敵潛ノ状況ニ依リテハ明二十三日前紀伊水道通航ニ變更セラルル豫定ニ付豫メ紀伊水道附近敵潜水艦掃蕩等ニ強力ニ實施方取計ハレ度。

通一三七九二 呂三A) B) 横通

海軍

349



人等

五二二 電話一四三〇 電一〇四八三 傳 動

第六部 第一一水雷隊

吳 備

電話第二二二二二二二番

聯合艦隊司令部

一 主 要 明 二 十 三 日 一 九 〇 〇 年 高 橋 地 道 ノ 警 察

二 副 領 地 二 在 九 州 練 部 隊 等 ハ 極 力 密 着 方 面 二 警 備 スル 練 取 計 ハ レ 度。

海軍 第一三九九四 月三A B

海 軍

電信課

350

五  
三三  
受領一七〇〇八  
一〇〇五  
一〇六〇九  
作

- 東京海軍通信隊
- 聯合艦隊一・第二一連

機密第三三三三三〇番電

發 第四南進艦隊參謀長  
宛 大海參一部

通報 南西方面艦隊參謀長

甲級の二隻「マノタワリ」方面ニ進出セシメラルル旨仄聞セテ所同方面及南方面ニハ同様の用途地施設管線ニ付同様のノ進出嚮ヲ待タサト

海軍

第四十回

351